

パブリックコメント意見募集の結果公表

(仮称) 帯広市障害者共生まちづくりプラン(原案)に関するパブリックコメント(市民意見の提出制度)に対して、市民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と市の考え方は下記のとおりです。ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

寄せられたご意見等について検討した結果、帯広市障害者共生まちづくりプラン(案)を別紙のとおり策定することとしました。

【意見募集結果】

案 件 名	(仮称) 帯広市障害者共生まちづくりプラン(原案)		
募 集 期 間	令和5年11月27日(月)～ 令和5年12月26日(火)		
意 見 の 件 数 (意見提出者数)	5件(2人)		
意見の取り扱い	修正	案を修正するもの	0件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	2件
	参考	今後の参考とするもの	1件
	その他	意見として伺ったもの	2件
意見の受け取り	持参		人
	郵送		人
	ファクス		人
	電子メール		2人

【意見等の内容】

NO.	市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
1	<p>重症心身障害児者で特に医療的ケアがあったり、医療依存度が高い層が使えるサービスには現在ほぼ選択肢がないかそもそも資源がないことがあります。</p> <p>短期入所に関しては、医療型では1か所しかありません。利用した子ども達の多くは体調を崩して帰宅することが多いことから、リピートを望む親がほとんどいません。</p> <p>主治医と連携がとれていて看護師や理学療法士など専門職をおいてケア、見守りできるような場所を設置して、当事者や家族が選択できるよう資源を増えるようお願いいたします。</p>	1	<p>【既記載】</p> <p>医療的ケア児を持つ家族は、長時間子どもを世話し、見守ることが必要です。家族からは、就労や自らの休息、日常生活など様々なことに制限を受けながら、我が子の命を守るため、先の見えない不安を抱えて生活しているなどの声を伺っています。</p> <p>こうした家族が休息などのために利用する短期入所事業などについて、ご指摘のような課題があると認識しています。</p> <p>このため、本計画の施策4生活支援の充実において、「障害のある人の介護を日常的に行う家族等が一時的に休息できるよう短期入所等の事業所の確保を進めます」としており、今後、民間事業者と協力しながら確保に努めていきます。</p>

NO.	市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
2	<p>重症心身障害児者で特に医療的ケアがあったり、医療依存度が高い層が使えるサービスには現在ほぼ選択肢がないかそもそも資源がないことがあります。</p> <p>生活介護においては、看護師を配置し手厚い看護・介護が必要なものに対して、看護師が配置されている事業所はほとんどありません。</p> <p>事業所に看護師配置ができるように行政独自加算を設け、事業者が参入しやすい体制をつくるようお願いいたします。</p>	1	<p>【既記載】</p> <p>医療的ケアが必要な重症心身障害児者の支援においては、家族の精神的・身体的負担の大きさに加え、看護職員をはじめとする支援体制の確保に課題があると認識しています。</p> <p>このため、本計画の施策4生活支援の充実において、「医療的ケアの必要な人に対し、協議会（帯広市地域自立支援協議会）において通所先への看護師の派遣や非常時の対応など必要な支援についての検討を行います」としており、国の動向を注視しながら、引き続き当事者や家族、関係機関の皆さまとともに、課題解決に向けた方策の検討を進めていきます。</p>
3	<p>帯広市保健福祉センターで行われている機能強化事業を見学した上で感じた課題、改善の必要性について。</p> <p>「1 利用者に合わせた個別評価」</p> <p>身体の状態に合わせた機器の利用、負荷量や最適な運動プログラムの提供がなされていない可能性があります。個別評価を行うことで安全で効果的な運動提供が可能と考えます。</p>	1	<p>【その他】</p> <p>帯広市では、健康増進法に基づく機能訓練が廃止になった際、類似のサービスを行う事業所・医療機関等がすでにあること、既利用者の大半が高齢者であること等を考慮し、障害者総合支援法に基づく地域活動支援センターの機能強化事業として、社会参加を主な目的とした体力向上トレーニングを導入しています。</p> <p>当事業では、利用者が無理なく自発的に取り組める環境づくりを重視し、トレーニングの内容を個別に管理するのではなく、利用者の健康状態を確認することを基本としつつ、各々のペースで気軽に参加できる内容としています。</p>
4	<p>帯広市保健福祉センターで行われている機能強化事業を見学した上で感じた課題、改善の必要性について。</p> <p>「2 痛み・転倒予防のための運動提案」</p> <p>見学時に利用者様から「膝に痛みがある」とお話がありました。痛みがあるため「運動を控えている」とのことでした。このようなケースは、セルフトレーニングや使用機器調整を行うことで痛みの予防が可能と考えます。</p>	1	
5	<p>帯広市保健福祉センターで行われている機能強化事業を見学した上で感じた課題、改善の必要性について。</p> <p>「3 事業自体のPR」</p> <p>年一回の広報の周知では、事業を知らない市民がほとんどかと思えます。人員配置や職種の専門性等、現状で対応しきれない面も理解はできますが、「地域活動の促進を図ることを目的としたトレーニング事業」として、課題解決は急務と考えます。</p>	1	<p>【参考】</p> <p>当事業のPRにつきましては、広報紙（年1回）のほか、帯広市HPへの通年掲載、帯広身体障害者福祉協会も構成員に加わる庁外団体への案内などにより周知を行っています。今後も、必要な人に情報が行き渡るよう、効果的な周知の方法を検討していきます。</p>

【案件の最終案】

別紙のとおり